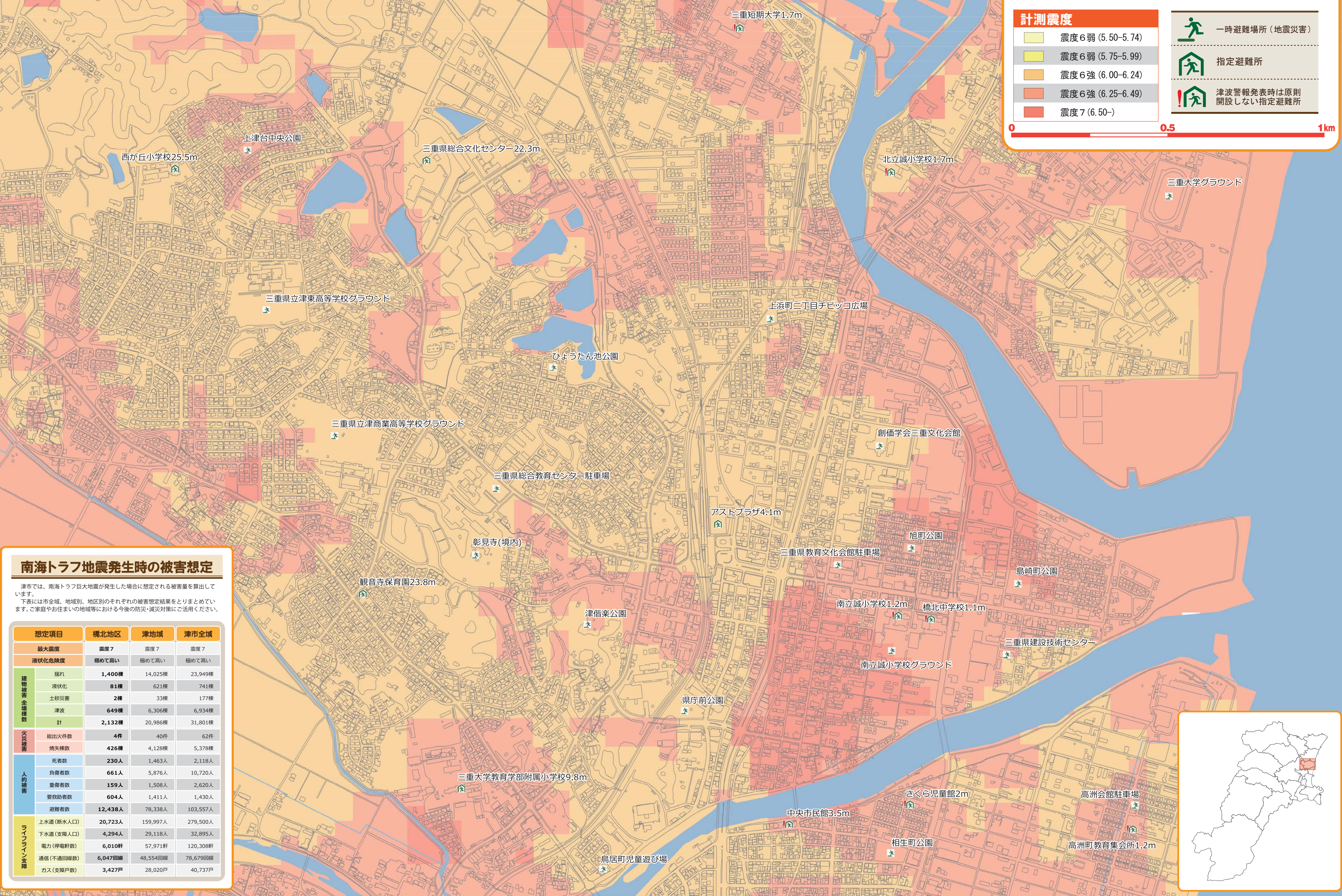


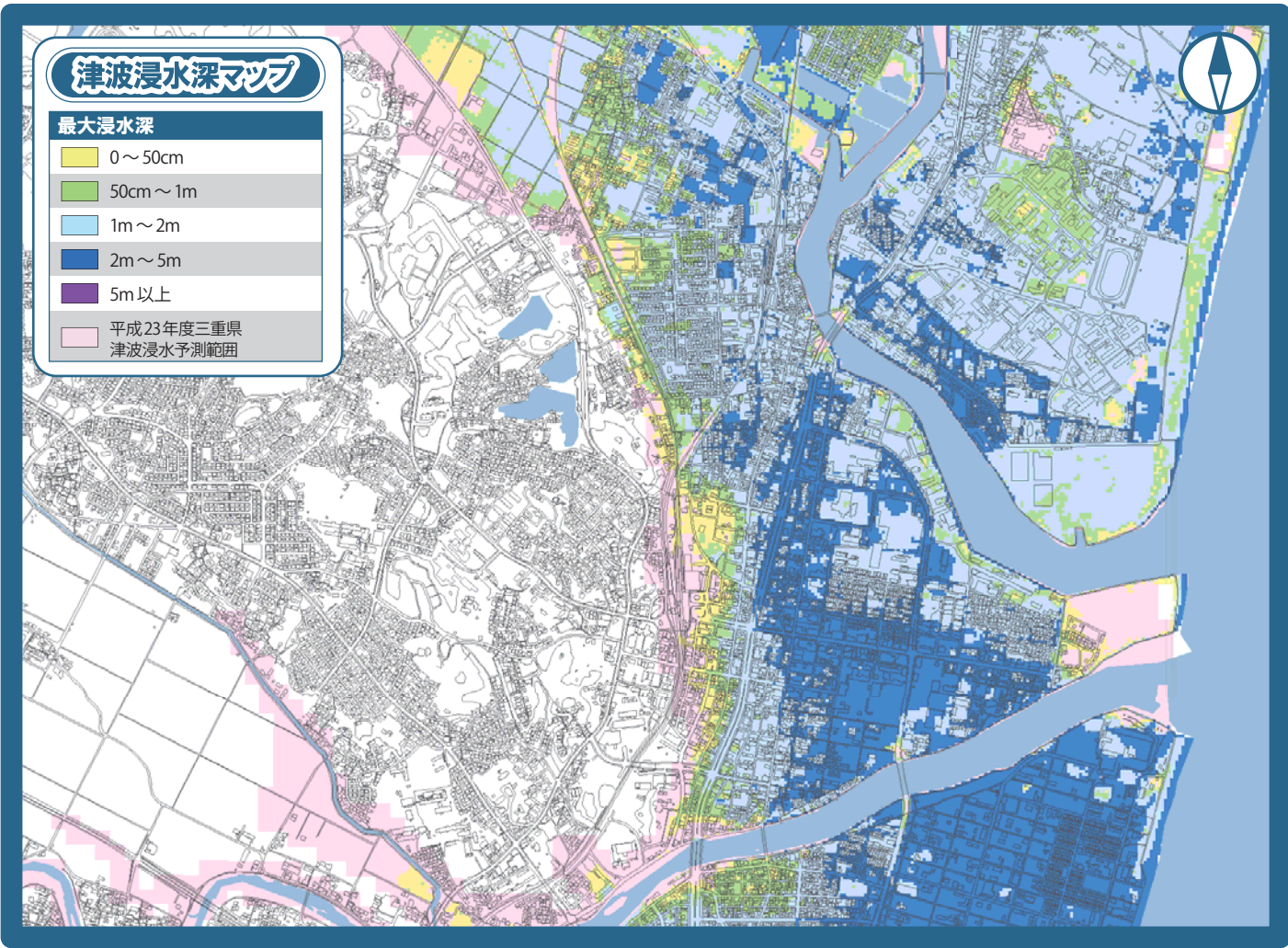
橋北地区【北立誠・南立誠地区】



南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。
下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

想定項目	橋北地区	津地域	津市全域
最大震度	震度7	震度7	震度7
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害（全壊棟数）			
揺れ	1,400棟	14,025棟	23,949棟
液状化	81棟	621棟	741棟
土砂災害	2棟	33棟	177棟
津波	649棟	6,306棟	6,934棟
計	2,132棟	20,986棟	31,801棟
火災被害			
始発火件数	4件	40件	62件
焼失棟数	426棟	4,128棟	5,378棟
死者数	230人	1,463人	2,118人
負傷者数	661人	5,876人	10,720人
重傷者数	159人	1,508人	2,620人
要救助者数	604人	1,411人	1,430人
避難者数	12,438人	78,338人	103,557人
避難場所（避難人口）			
上水道（取水人口）	20,723人	159,997人	279,500人
下水道（支那人口）	4,294人	29,118人	32,895人
電力（停電軒数）	6,010軒	57,971軒	120,308軒
通信（不通回線数）	6,047回線	48,554回線	78,679回線
ガス（支那人口）	3,427人	28,020人	40,737人



- 津波避難の
こうえ
- 少しでも遠く、
高いところに逃げる。
- 「避難は徒歩が原則」
家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるので、歩いて避難しましょう。
 - 「想定にとられない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとられず、その時の状況を見極めることが大切です。
 - 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿をみている人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
 - 「最善を尽くす」
自分は大丈夫、ここまでは大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとしましょう。
 - 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて、一緒に避難するなど、近所でお助け合いましょう。
 - 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
 - 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても遠くまで避難ができない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

